

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会

会長 守谷圭佑様

出雲市長 長岡秀人

### 子育て支援に関する要望について（回答）

平素は、児童福祉行政に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年11月17日付けで提出されました標記要望について、下記のとおり回答します。

#### 記

#### 第1 子どもの医療費の無償化に関する要望について

子どもの医療費負担は、住む地域によって扱いが異なるというのは、望ましい姿ではなく、国全体の子育て支援策として取り組むべき課題であるとの考えは変わっておらず、国に対して継続して要望しています。

本市では、令和元年10月から、小中学生の医療費助成を開始していますが、所得制限を設けているため、限られたお子さんのみが対象となっている状況です。令和3年4月からは県の補助制度が拡充されることを受け、所得制限を撤廃し、すべての小学生を対象とするとともに、費用負担の大きい入院については市独自で中学生も対象にすることとしました。その際、一定の保護者負担をお願いすることとなりますが、限られた財源の中、子育て支援における医療費助成を幅広く行うためでありますので、ご理解いただきたいと思います。

#### 第2 インフルエンザ予防接種費用の助成に関する要望について

予防接種は、感染症の発生及びまん延を予防し、特に次代を担う子どもたちを守る手段として有効なものであると認識していますが、地方自治体間で格差が生じないよう、国の責任で定期接種として実施すべきものと考えており、全国市長会を通じて早期の定期接種化を要望しております。

今後、国の動向を注視し、情報収集に努めるとともに、乳幼児健診や窓口での相談の際、インフルエンザワクチン接種について保護者に対し情報提供を行い、予防接種の意義や効果についての理解を深めていただくとともに、引き続き「新しい生活様式」や感染症予防対策の周知に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 第3 夜間・休日診療の体制の充実に関する要望について

出雲休日・夜間診療所は、月曜日から金曜日の夜間診療と、日曜日、祝日、年末年始の休日診療を行っています。

医師については、出雲医師会及び島根大学医学部附属病院から特段のご配慮をいただきながら、それぞれに所属される医師の方に、正規の勤務時間外に従事していただいています。また、看護師についても、民間医院等で勤務されている方に勤務時間外に従事していただいています。

こうした状況から、医師及び看護師の確保には、日頃から苦慮しているところです。

特に、小児科については、市内の小児科医師が減少していることから、現在の診療体制を維持することが最優先であり、診療時間の拡大や医師及び看護師の増員は困難であると考えています。

なお、インフルエンザ流行期等の繁忙期について、昨年度から出雲医師会のご協力のもと、患者数の増加に応じた医師の一時的な増員のルールを定めて対応しているところです。

### 第4 保育士の労働環境の改善に関する要望について

平成27年にスタートした子ども・子育て支援新制度において、国は、幼児教育・保育・地域の子ども・子育て支援の質の向上・量の確保を図るとして、保育所等への給付費に賃金改善分を加算するなど、保育士の処遇改善に取り組んでいます。

本市としても、保育士の処遇改善は、人材の確保・定着化に資するものであり、待機児童解消に欠かせない施策であることから、賃金改善加算が確実に保育士の処遇に反映されるよう、恒久的な財源措置について、国に対し要望しているところです。

また、本市では、業務効率化のためのICT導入補助金や、基準を上回る保育士の配置に対する補助金を交付し、保育士の負担軽減と保育の質の向上を図っています。

さらに今年度は、新型コロナウイルス感染症のリスクがある中で保育を継続されていることに対し、国、県の交付金を活用して保育士等に1人当たり5万円の応援協力金を支給するとともに、消毒作業等にかかる時間外勤務手当などに補助金を交付し支援しています。

本市といたしましては、今後も引き続き、保育士の処遇改善について国へ要望を行うとともに、支援に努めていく考えです。